

図 2.5(1) スズキの生態特性・海域の地理条件・水質条件から見た好適な水域（産卵場・生育場）

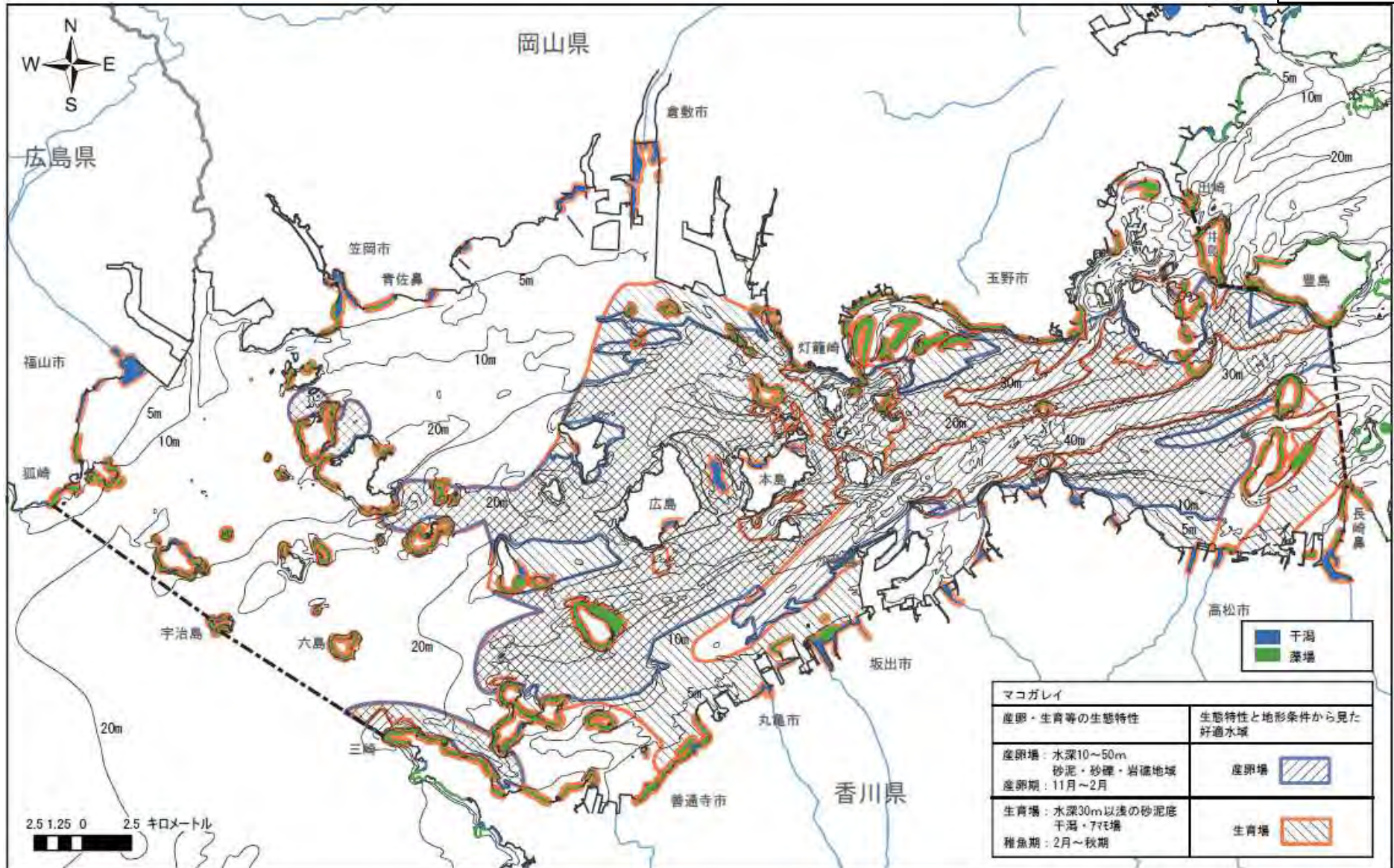


図 2.5(2) マコガレイの生態特性・海域の地理条件及び水質条件から見た好適な水域（産卵場・生育場）

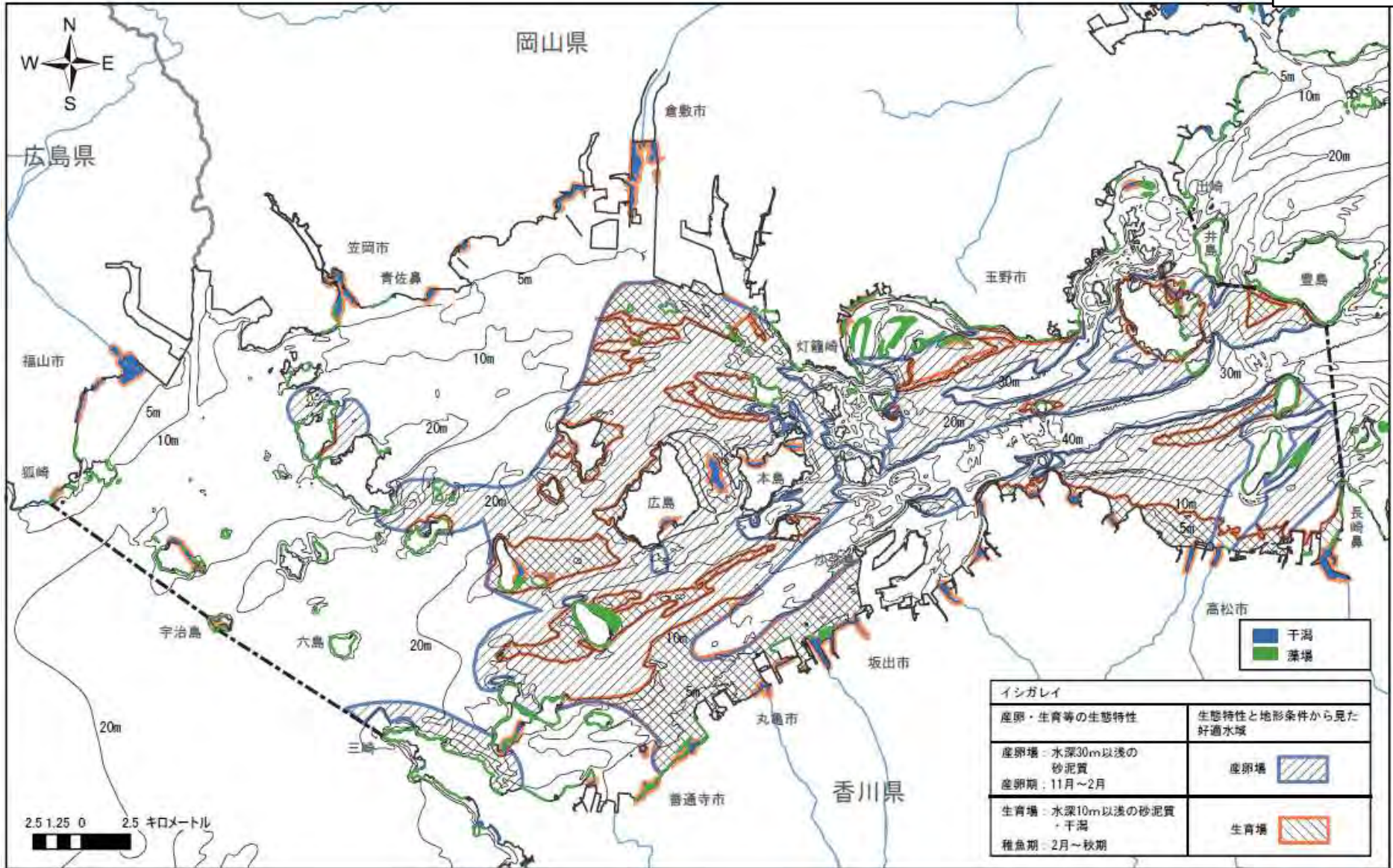


図 2.5(3) イシガレイの生態特性・海域の地理条件及び水質条件から見た好適な水域（産卵場・生育場）

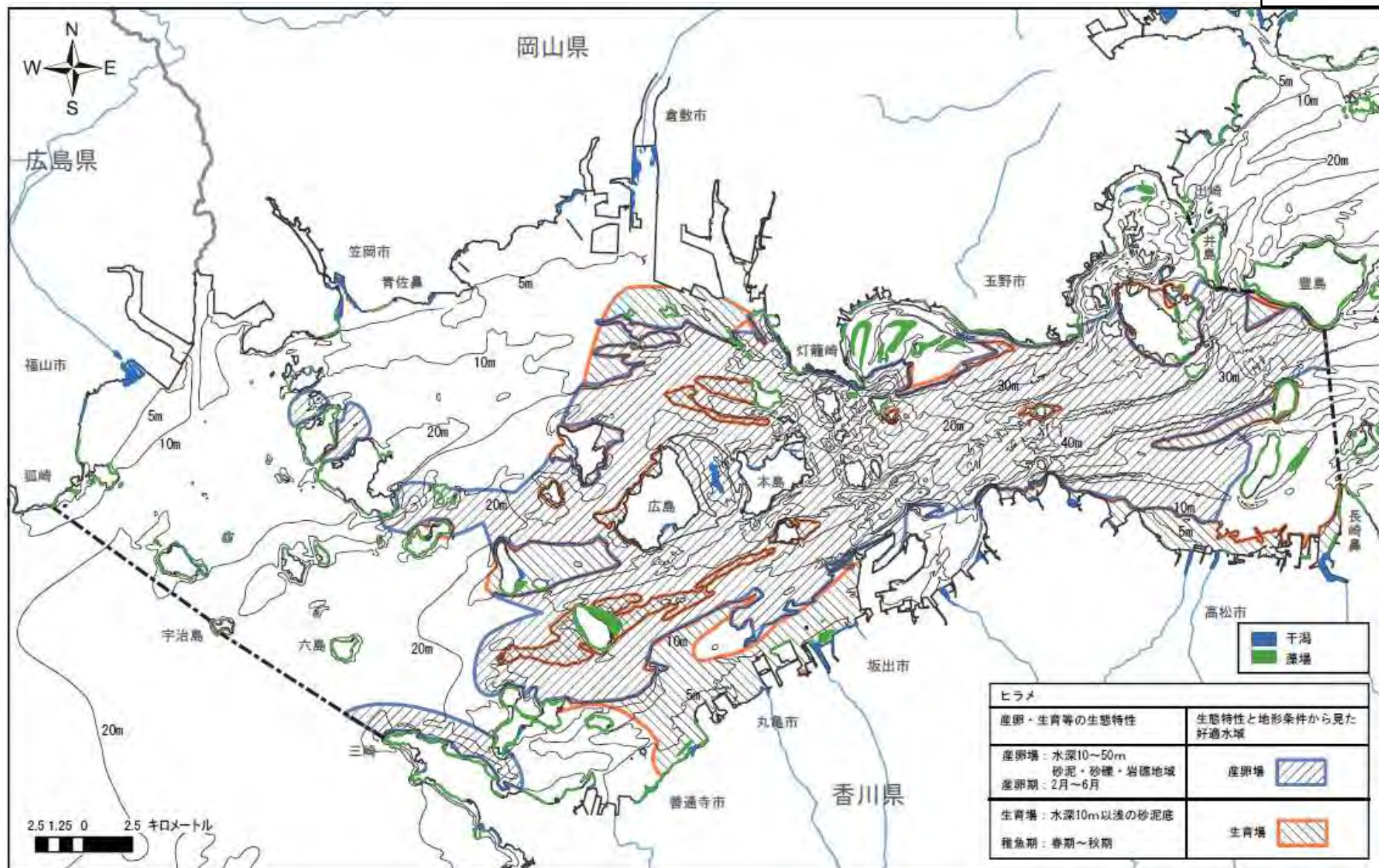


図 2.5(4) ヒラメの生態特性・海域の地理条件及び水質条件から見た好適な水域（産卵場・生育場）

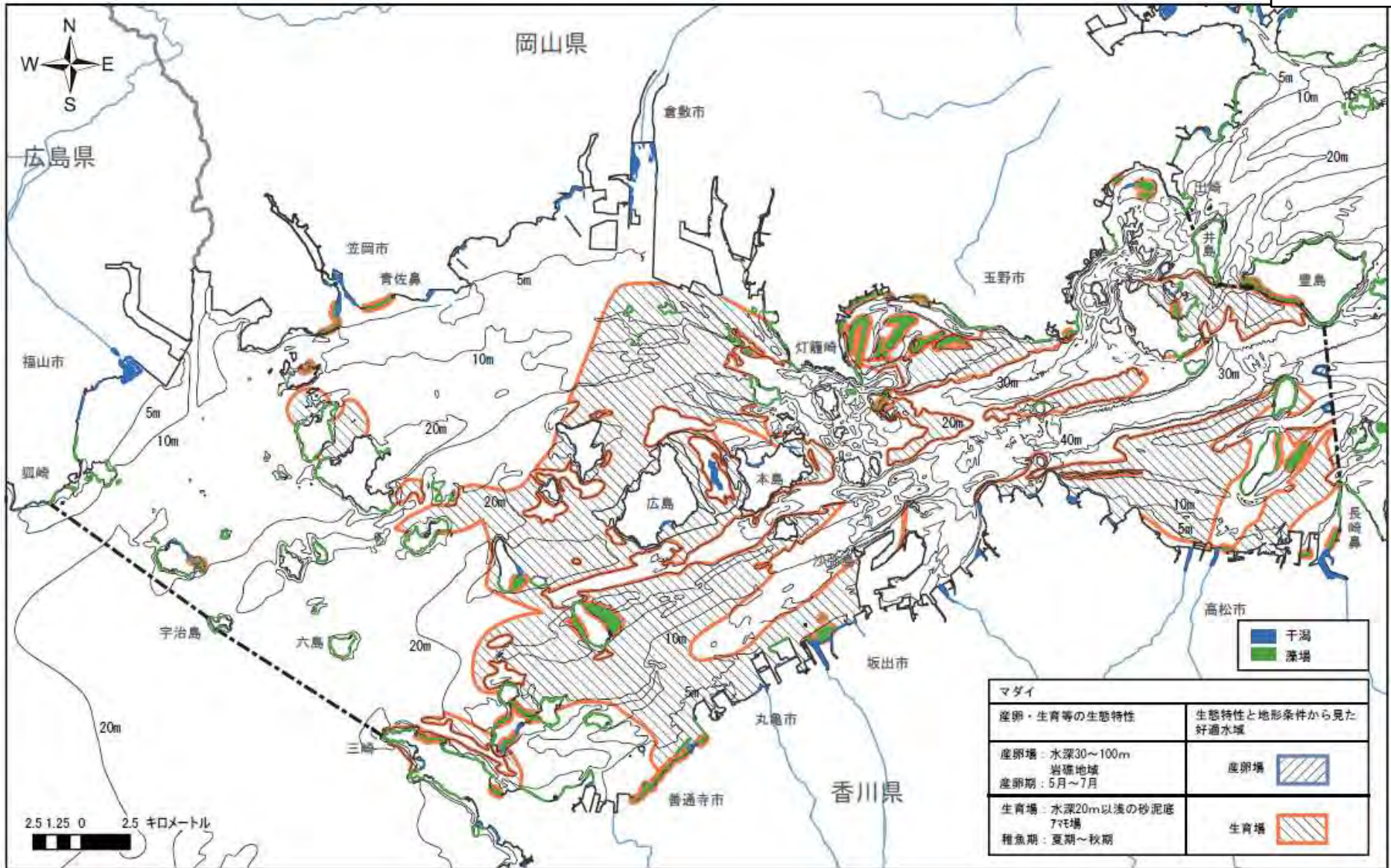


図 2.5(5) マダイの生態特性・海域の地理条件及び水質条件から見た好適な水域（産卵場・生育場）

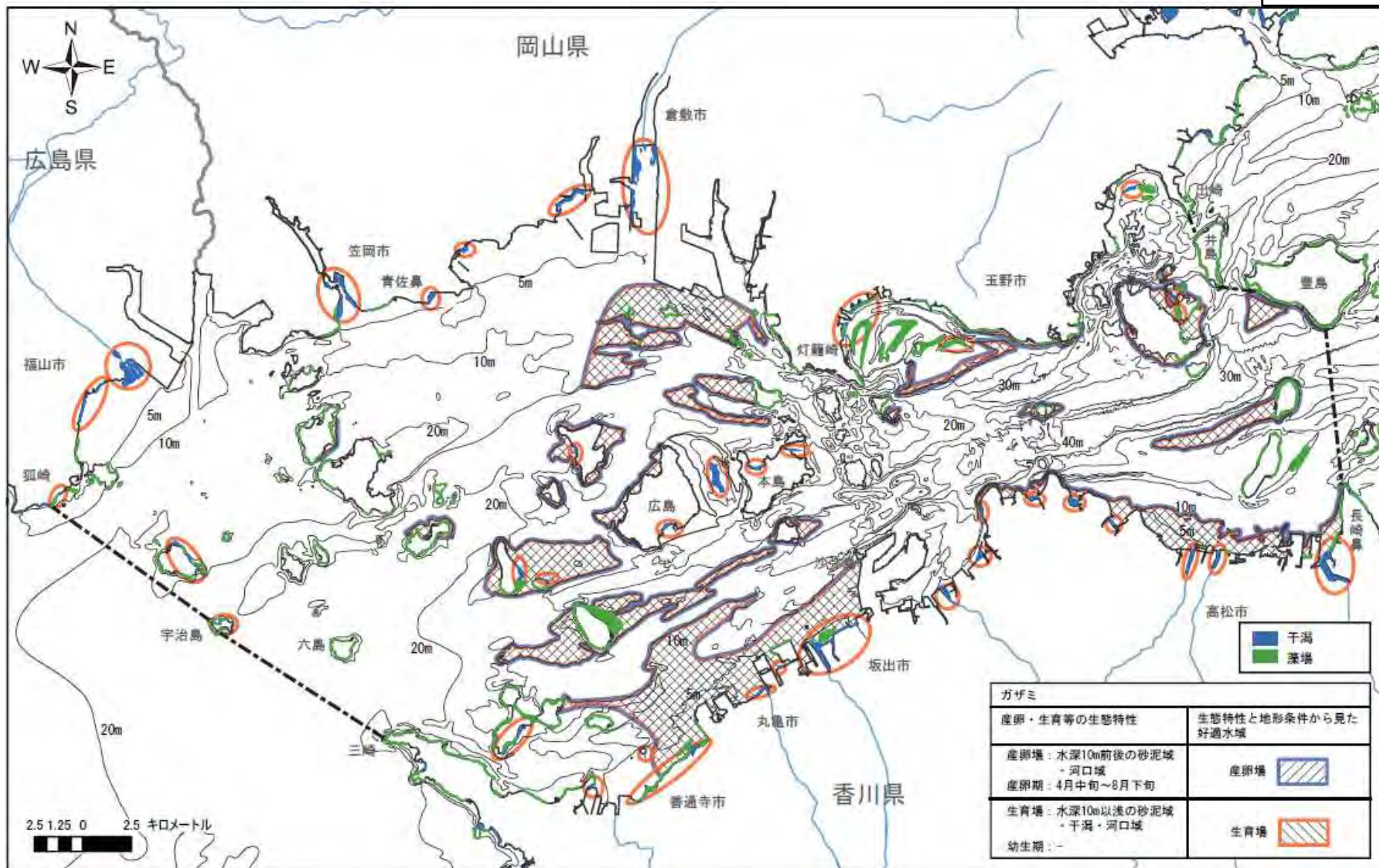


図 2.5(6) ガザミの生態特性・海域の地理条件及び水質条件から見た好適な水域（産卵場・生育場）

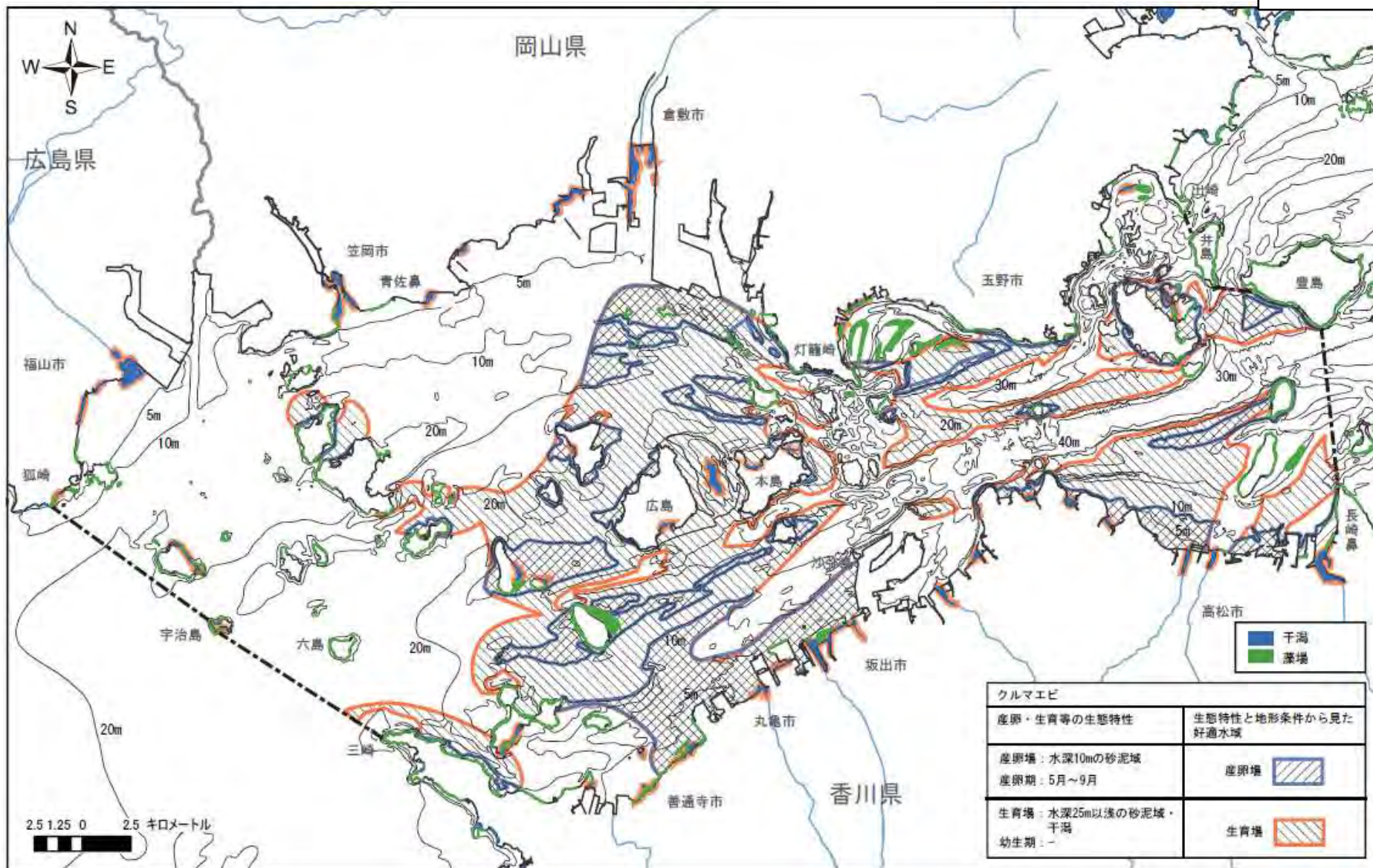
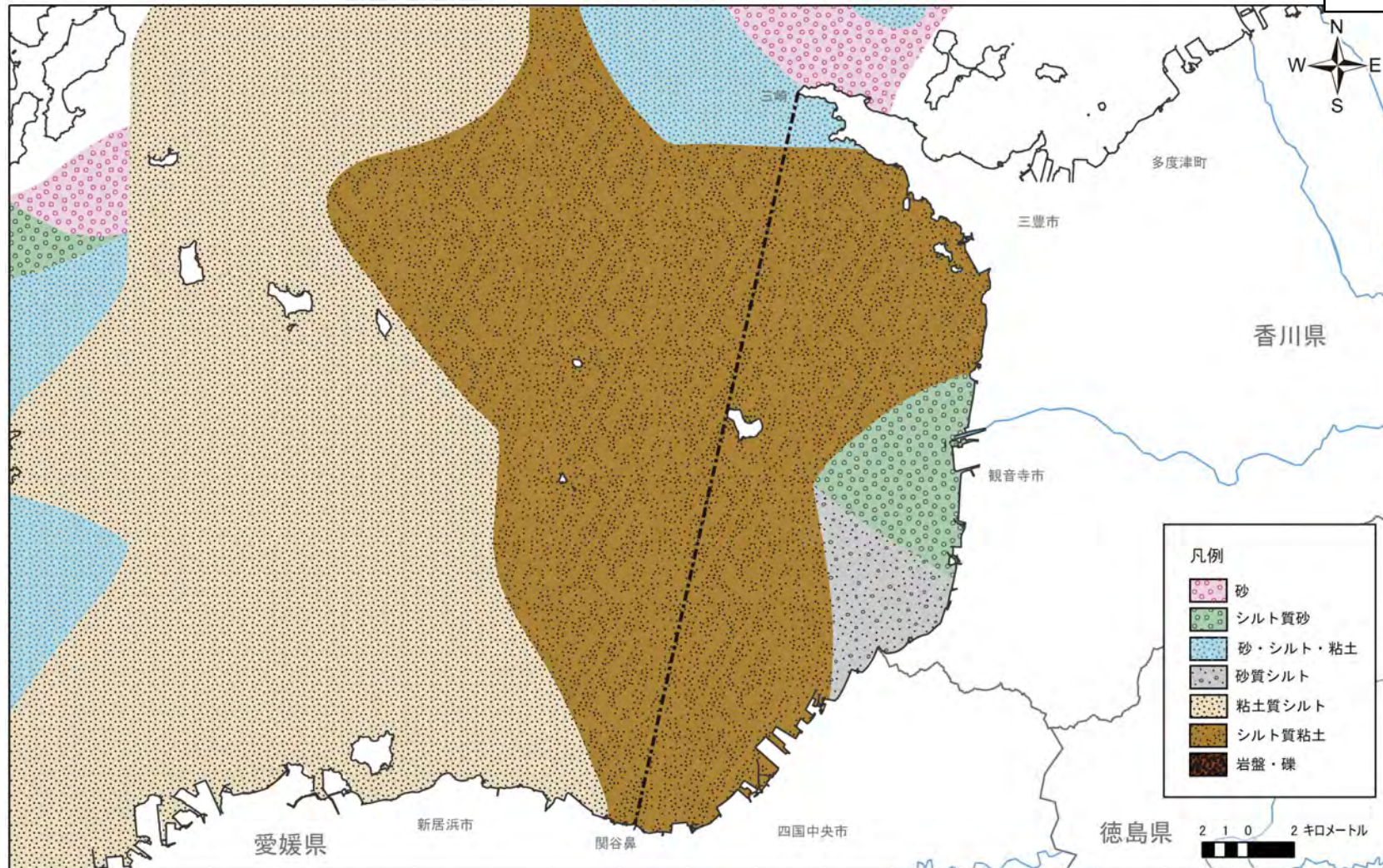


図 2.5(7) クルマエビの生態特性・海域の地理条件及び水質条件から見た好適な水域（産卵場・生育場）

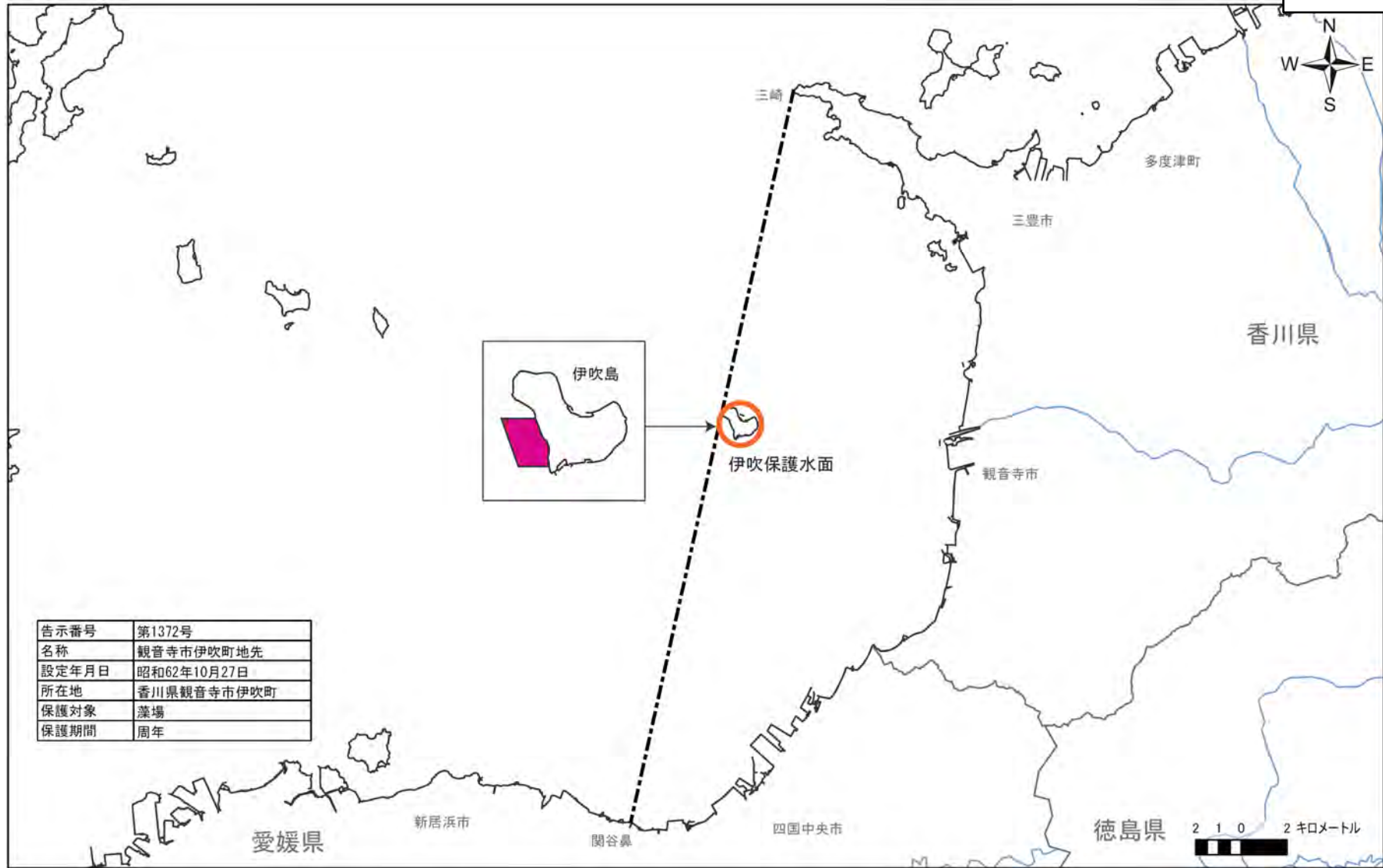


出典：日本全国沿岸海洋誌より作成

注) 砂：細粒分が 5%未満、シルト質砂：細粒分が 15%以上 50%未満、砂質シルト：細粒分が 50%以上、シルト：細粒分が 50%以上、粘土：細粒分が 50%以上、粘土質シルト：細粒分が 50%以上（砂質シルト、シルト、粘土、粘土質シルトは、液性限界等の諸指数によって工学的に分類される）

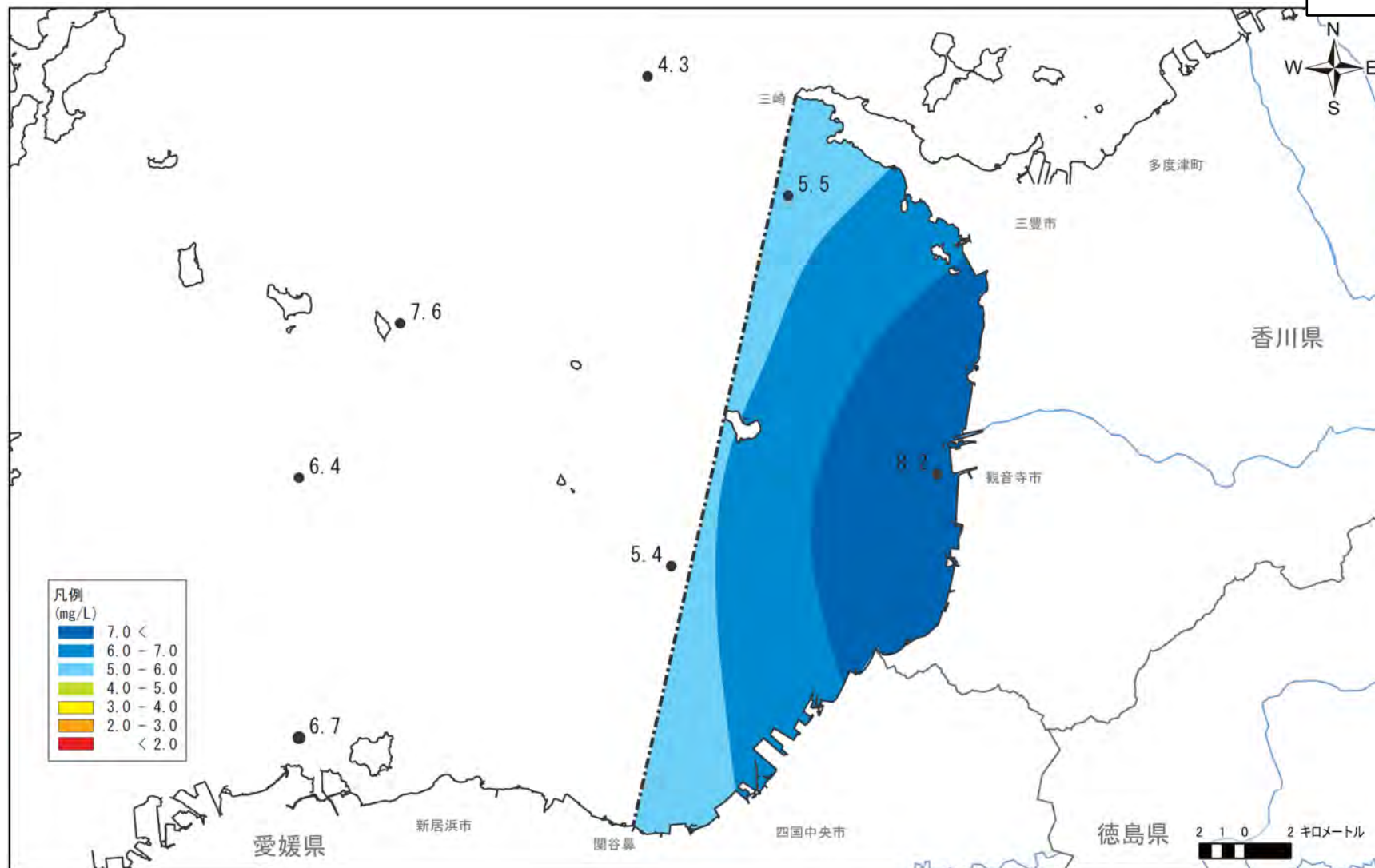
図 3.1 底質の分布状況





出典：香川県漁業調整規則

図 3.2 水産資源保護法に基づく保護水面の概要



平成 19~21 年の夏季底層 DO のうち、DO 濃度分布が最も悪化した平成 20 年を掲載した。

測定位置：海底直上 1m 出典：環境省広域総合水質調査結果

図 3.3 夏季底層 DO の分布 (平成 20 年)

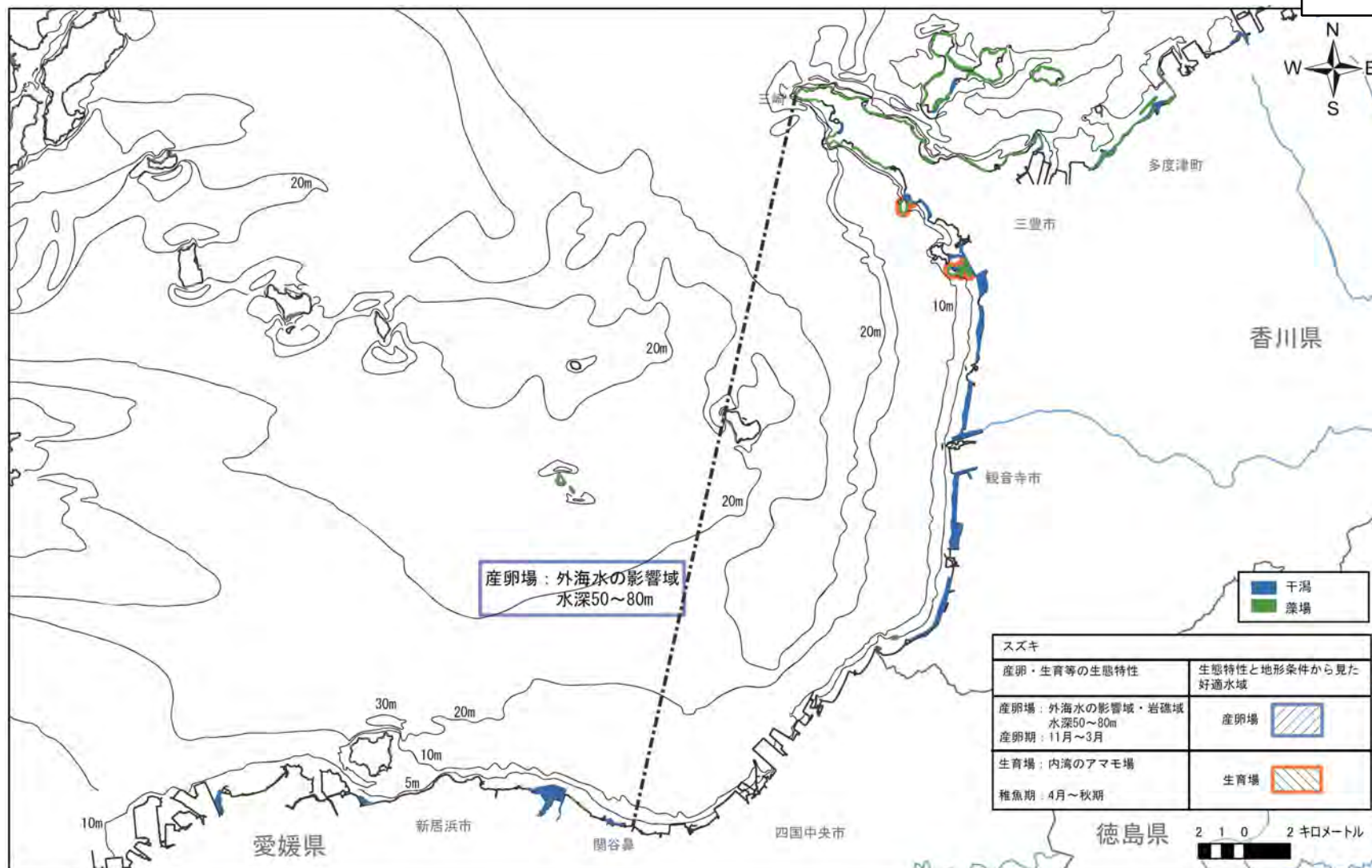


図 3.4(1) スズキの生態特性、海域の地理条件・水質条件からみた好適な水域（産卵場・生育場）